

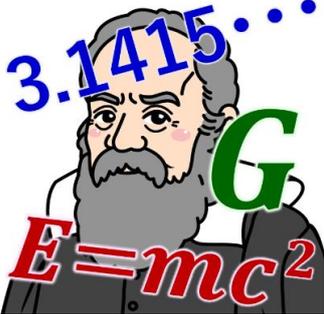
【4月期】3月6日(水)10時から受付開始

※金額はすべて消費税が含まれております。

新規講座

講座名	New ! 筑波山・植物の魅力		
講師名	小幡 和男 (茨城県霞ヶ浦環境科学センター、 ミュージアムパーク茨城県自然博物館名誉学芸員)		
講義日時	第1、第3火曜 10時～11時30分		
	①4/16	筑波山の植生と主な植物	
	②5/7	観察会(筑波山自然研究路・男体山周遊コース)	
	③5/21	筑波山のブナ林とその保全	
受講料	会員	3,960 円	キクザキイチゲ
(3回分)	一般	5,610 円	
講座内容	<p>関東平野からいっきにそびえる筑波山は、標高877mの低山にもかかわらず、山麓のシイ・カシ林から山頂付近のブナ林まで、植生の垂直分布が見られ、多様な植物が生育します。その魅力をお話します。</p> <p>※5/7の観察会は、筑波山ケーブルカー山頂駅付近に10時集合、12時解散となります。(現地集散)</p>		

講座名	New ! 昭和初期の日仏美術交流ー藤田嗣治や佐伯祐三の画業を通してー		
講師名	齊藤 泰嘉 (筑波大学名誉教授、常磐大学特任教授)		
講義日時	第2金曜 13時～14時30分		
	①5/10	近代日本美術とパリ神話 明治以来、日本の画家たちはパリに強い憧れを抱くようになり、印象派など新しい美術動向を追い求めるようになります。その中心画家黒田清輝の画業の意味を考えます。	
	②6/14	藤田嗣治の秘密技法 藤田嗣治はパリで初めて高く評価された日本人画家です。裸婦の絵に天花粉を使ったという油絵技法の秘密に迫ります。	
	③7/12	佐伯祐三の幾何学 佐伯祐三はパリの街角を歩き、描いた画家です。その絵には都市パリの幾何学が隠されています。佐伯の絵筆が映画のように映し出すパリの美しさを味わいます。	
	④8/9	エルマン・デルスニスと日仏芸術社 デルスニスは藤田嗣治と親交のあった美術商です。ロダン《考える人》(最大型)を日本で初めて展示した人物です。パリで横山大観など日本美術の紹介もした彼の功績を紹介します。	
受講料	会員	5,280 円	
(4回分)	一般	7,040 円	
講座内容	<p>パリに暮らした画家たち、藤田嗣治や佐伯祐三、さらにフランス人美術商デルスニスの活動を紹介し、昭和初期・1920年代の日仏美術交流の世界を振り返ります。</p>		

講座名	New ! 宇宙は数学という言葉で書かれている		
講師名	坂元 眞一 (サイエンス・メディア・ラボ 科学コミュニケーター)		
講義日時	第2、第4土曜 10時～11時30分		
	①4/27	数学の復習、ピタゴラスの定理、ユークリッド幾何学	
	②5/11	ニュートン力学、ボルツマン定数と熱力学の第2法則	
	③5/25	電気素量と電磁気学、光速と特殊相対性理論	
	④6/8	重力定数と新旧二つの重力理論	
	⑤6/22	プランク定数と不確定性原理、量子力学	
受講料	会員	6,600 円	
(5回分)	一般	9,350 円	
講座内容	<p>ガリレオはなぜ「宇宙は数学という言葉で書かれている」と言ったのでしょうか。世界を記述する重要な数式や物理定数について、その意味や役割を読み解きながら、ガリレオの言葉を検証していきます。</p>		

講座名	New ! 歴史の視点 I - 転換期の資料からみた古代の茨城 -		
講師名	黒澤 彰哉 (元茨城県立歴史館史料学芸部長)		
講義日時	第1水曜 13時～14時30分		
	①4/3	古墳文化の波及を物語る土器の出現	
	②6/5	畿内よりも盛行した茨城の埴輪	
	③7/3	墳丘の中心に埋葬されない不思議な古墳	
	④8/7	『常陸国風土記』に見える安是湖と阿多可奈湖	
	⑤9/4	多賀城碑に見える「常陸国界」の意味	
受講料	会員	6,600 円	
(5回分)	一般	9,900 円	
講座内容	<p>考古学資料や史料をもとに、従来の研究とは異なる視点で新たな茨城の古代史像を追求していきます。</p>		

講座名	New ! 茨城の寺院と仏教		
講師名	千葉 隆司 (かすみがうら市歴史博物館館長)		
講義日時	第1、第3土曜 10時～11時30分		
	①6/15	古代仏教と国分寺	
	②7/6	常陸講師最仙と天台宗	
	③7/20	徳一と筑波山中禅寺	
	④8/3	忍性と真言律宗	
	⑤8/17	善光寺と女人救済	
	⑥9/7	高野山と戦国武将	
受講料	会員	7,920 円	
(6回分)	一般	11,880 円	
講座内容	<p>茨城には、特徴的な仏教や僧侶の歴史があり、そして中心的な寺院が建立されました。今回の講座では、古代から中世にかけての代表的な6項目の茨城の仏教について学びます。</p>		

講座名	New ! 長塚節『土』から読み解く茨城の生活文化(前編)		
講師名	伊藤 純郎 (筑波大学名誉教授)		
講義日時	第1、第3金曜 10時～11時30分		
	①4/19	長塚節の生涯と夏目漱石の評価	
	②5/17	『土』に描かれた地域－近代の常総地域	
	③5/31	お品の死 I－間引き・嬰兒殺し	
	④6/7	お品の死 II－葬儀・埋葬	
	⑤6/21	お品の結婚－婚姻・家族	
受講料	会員	6,600 円	
(5回分)	一般	9,900 円	
テキスト代	737円(税込)『土』長塚節 著 (新潮文庫) *各自ご用意ください。		
講座内容	<p>長塚節の長編小説『土』(1912年)を読み解きながら、常総・つくば地域の近代史を、結婚・間引き・埋葬・食事・信仰などの視点から考察します。</p>		

講座名	New ! 利根川から考える茨城の開発		
講師名	橋本 直子 (歴史地理学会会員、専修大学兼任講師)		
講義日時	第2金曜 13時～14時30分		
	①4/12	利根川改変 現在の東京湾に注いでいた利根川が約100年をかけて現在の流路となった過程を探ります。	
	②5/10	小貝川・鬼怒川流域の新田開発 古代鳥羽江に開かれた新田や飯沼に代表される内陸湖沼の干拓を学びます。	
	③6/14	利根川舟運と船橋 利根川の改変は銚子から関宿を経て江戸に至る内陸舟運路を確立しました。また近代に登場した船橋を紹介します。	
受講料	会員	3,960 円	
(3回分)	一般	5,610 円	
講座内容	<p>利根川が現在の流路となったのは江戸時代初頭のことでした。関宿の台地から常陸川へ導かれた利根川は常総地域の耕地開発や交通網を推進します。利根川が茨城にもたらした歴史を開発の観点から考えます。</p>		

講座名	New ! あなたの言葉で綴る文章(前編)		
講師名	西田 信博 (文筆家)		
講義日時	第2火曜 13時～14時30分 ※8月は第4週		
	①4/9	句読点と段落	
	②5/14	視点	
	③6/11	色、匂い、音	
	④7/9	モチーフと題	
	⑤8/27	省略について	
	⑥9/10	余韻について	
受講料	会員	9,900 円	
(6回分)	一般	13,200 円	
講座内容	<p>小説・エッセイ・詩、様々な文章の綴り方、考え方を一緒に学んでみましょう。作品の鑑賞にも役立つ講座です。</p>		

講座名	New ! 筑波山周辺の祭りと信仰		
講師名	古家 信平 (筑波大学名誉教授)		
講義日時	第1、第3金曜 13時～14時30分		
	①5/17 筑波山信仰と祭礼 ②6/7 小田、北条の祇園祭 ③6/21 先祖を迎える行列ー盆綱 ④7/5 常陸国総社宮大祭ー伝統的な都市の祭礼 ⑤7/19 まつりつくばー新しい都市の祭礼		
受講料 (5回分)	会員	6,600 円	
	一般	9,900 円	
講座内容	筑波山とその周辺にはたくさんの祭りがあり、信仰に支えられています。歴史、民俗的な背景とともに紹介し、それらの意味を尋ねます。		

講座名	New ! 意外に知らない土浦の歴史	場所:つくば教室	
講師名	田邊 えり(上高津貝塚ふるさと歴史の広場学芸員) 西口 正隆(土浦市立博物館学芸員) 野田 礼子(土浦市立博物館学芸員) 萩谷 良太(土浦市立博物館学芸員)	 土浦城跡(櫓門)	
講義日時	第4木曜 10時～11時30分		
	①5/23 「土浦の縄文時代 上高津貝塚」田邊 ②6/27 「廃藩置県と土浦藩土」西口 ③7/25 「養蚕全盛期の土浦」野田 ④8/22 土浦市立博物館見学会 萩谷 『水の恩人・色川三郎兵衛と近代の土浦』(現地集散・別途入館料200円)		
諸費用 (4回分)	会員		2,640 円
	一般		4,290 円
講座内容	土浦市は古くから人が住み始め、豊かな歴史を紡いできました。ふたつの博物館が解き明かしてきた先人たちの足跡をご紹介します。		

講座名	New ! つくばの歴史再発見 ! 2	場所:つくば教室
講師名	広瀬 季一郎(つくば市教育局文化財課係長) 五十嵐 和也(つくば市教育局文化財課主任)	 <p>谷田部藩陣屋の玄関</p>
講義日時	第3水曜 10時～11時30分	
	①6/19 「中・近世の集落遺跡－その景観を探る－」広瀬 ②7/17 「近世つくばと3つの陣屋－谷田部・上郷・寺具－」五十嵐	
諸費用 (2回分)	会員 1,320 円 一般 2,200 円	
講座内容	<p>中・近世の歴史は、発掘や古文書、石造物、建造物など、様々な方法や物からアプローチすることができます。今回の講座では、「集落」と「陣屋」をテーマに、つくば市域の中・近世史を探ります。</p>	